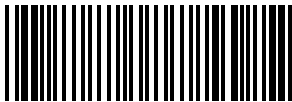


MS250 USB 仮想 COM ドライバインストール

V2.0

1. MS250 を PC の USB ポートへ接続してください。
2. PC でメモ帳などのテキスト入力可能なソフトウェアを起動してから、次のバージョン表示バーコードを読み取ってください。

%%\$+/5



バージョン表示

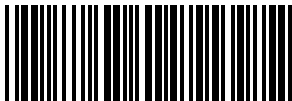
3. MS250 がピピピと鳴動し、ソフトウェア上に自身のバージョン情報を出力します。本機では、バージョン情報末尾の日付情報によって使用するドライバが異なります。

バージョン情報例：

S32V7.03.01_MS250 2013.09.26

4. 自身のバージョン情報を確認したら、次の USB 仮想 COM モードバーコードを読み取ってください。初めて MS250 を仮想 COM に変更したときには、仮想 COM ドライバのインストールが必要です。

%%0088



USB 仮想 COM モード

※ Windows10 ではドライバのインストールは必要ありません。4 ページまでスキップしてください。

5. 自身のバージョン情報に基づき、正しい USB 仮想 COM ドライバをご使用ください。

【S32V7.03.01_MS250 2013.12.12】以前 => 2 ページ

【S32V7.03.01_MS250 2015.02.02】以降 => 3 ページ

MS250 USB 仮想 COM ドライバインストール

V2.0

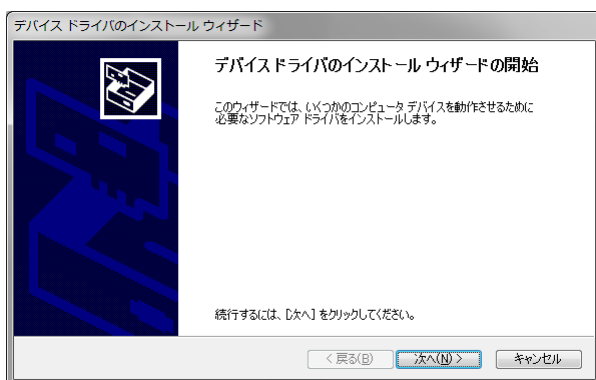
【2013.12.12】以前のバージョンの機器を使用している場合

- MS250用仮想COMドライバ V1.1をダウンロードし、PCの任意のフォルダに展開してください。
- PCのOSのbit数に応じて、展開したフォルダから以下のファイルを実行してください。

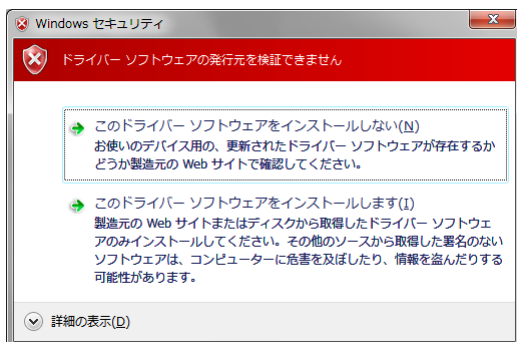
32bit OS = S32 VC driver(x86)フォルダ内の dpinst_x86.exe

64bit OS = S32 VC driver(x64)フォルダ内の dpinst_amd64.exe

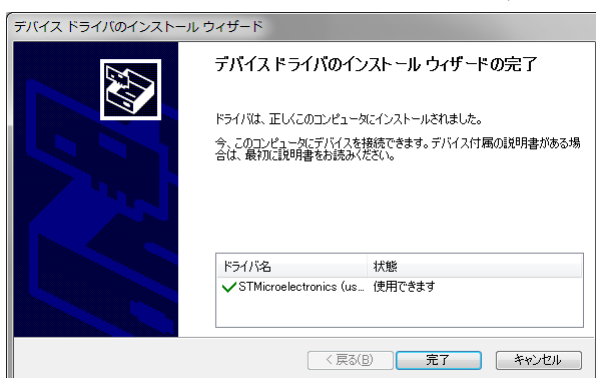
- デバイスドライバのインストールウィザードが開始されますので次へをクリックします。



- セキュリティ警告が表示されたらこのドライバーソフトウェアをインストールしますをクリックします。



- ドライバのインストールが完了したら完了をクリックしてウィンドウを閉じてください。



MS250 USB 仮想 COM ドライバインストール

V2.0

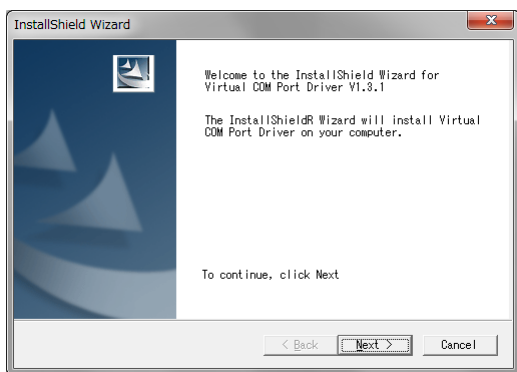
【2015.02.02】以降のバージョンの機器を使用している場合

- MS250 用仮想 COM ドライバ V1.3.1 をダウンロードし、PC の任意のフォルダに展開してください。
- PC の OS の bit 数に応じて、展開したフォルダから以下のファイルを実行してください。

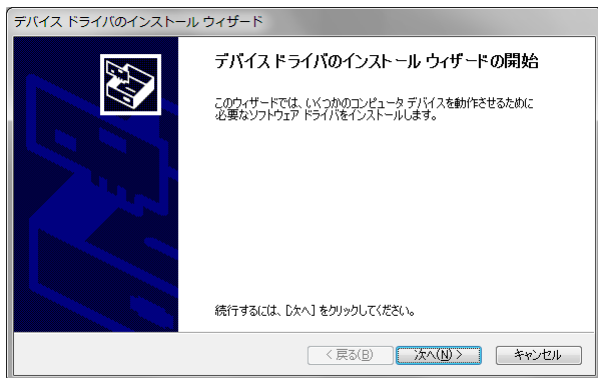
32bit OS = VCP_V1.3.1_Setup.exe

64bit OS = VCP_V1.3.1_Setup_x64.exe

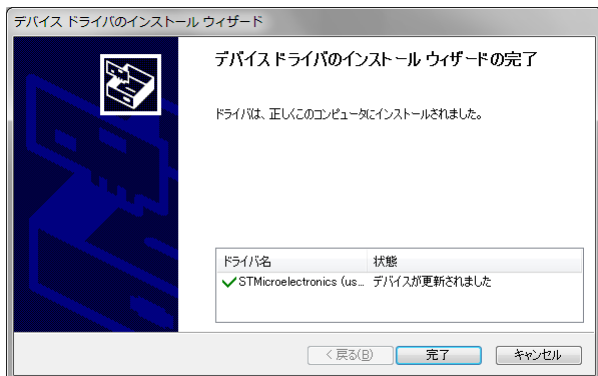
- InstallShield Wizard が開始されますので **Next** をクリックします。



- デバイスドライバのインストールウィザードが開始されますので**次へ**をクリックします。





- ドライバのインストールが完了したら**完了**をクリックしてウィンドウを閉じてください。



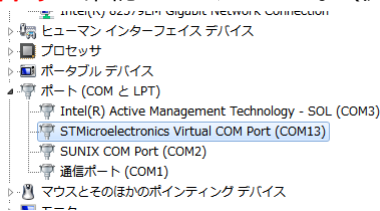
MS250 USB 仮想 COM ドライバインストール

V2.0

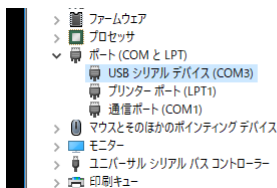
11. デバイスマネージャーを実行し、スキャナの使用する COM ポート番号を確認します。デバイスマネージャーを実行するには、コントロールパネル▶ハードウェアとサウンド▶デバイスマネージャーとクリックするか、キーボードの  +R キーでファイル名を指定して実行を表示し、名前に devmgmt.msc と入力し実行してください。

Windows10 の場合は、 +X キーを押してメニューから選択してください。

12. ポート (COM と LPT) に表示されている STMicroelectronics Virtual COM Port 右の **COM 番号**を確認してください。(例図では COM13)



Windows10 の場合は USB シリアルデバイスと表示されます。(例図では COM3)



※ シリアル通信アプリケーション (USB 仮想 COM ポートからのデータを受信するアプリケーション) をお客様でご用意いただく場合は、以降の手順は必要ありません。

13. 弊社ではシリアル通信アプリケーションとして無償の COM2KB (COM2KEY) ご用意しております。COM2KB は、以下の場所からダウンロードすることができます。

<http://jp.ute.com/>▶製品▶リニアイメージャスキャナ▶MS250▶ダウンロード▶COM2KB

14. COM2KB の設定／操作方法については、次ページ以降を参照してください。

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

COM2KEY について

COM2KEY は、COM ポートから受信したデータをキーボードバッファへ送信し、コンピュータの表示可能な文字に変換して出力するためのアプリケーションです。

お客様の使用されているアプリケーションが COM ポートを使用する場合、このプログラムは使用しないでください。COM ポートには1つのアプリケーションしかアクセスできないため、COM ポートの取り合いになります。

COM2KEY は、半角英数・記号の出力に対応しています。日本語（全角文字、半角カナなど）の出力には対応しておりません。

COM2KEY で提供されている以上の機能が必要な場合は、お客様にて別途アプリケーションをご用意ください。

COM2KEY のインストール

1. ダウンロードしたセットアップファルを実行してください。
2. 以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

COM2KEYのアンインストール

コントロールパネルのプログラムと機能から **Communication Port To Keyboard** を削除してください。

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

COM2KEYの実行

1. スタートメニューのすべてのプログラムまたはすべてのアプリから、Communication Port To Keyboard フォルダの Com2Kb をクリックしてください。または、インストールフォルダの Com2Kb を実行してください。

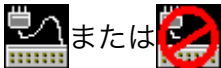
【32bit OS の標準インストールフォルダ】

C:\Program Files\Unitech America Inc\Communication Port To Keyboard

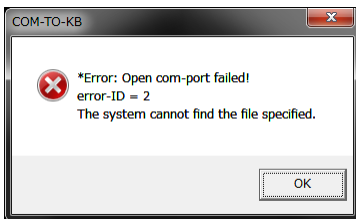
【64bit OS の標準インストールフォルダ】


C:\Program Files (x86)\Unitech America Inc\Communication Port To Keyboard

2. タスクトレイに次のようなアイコンが常駐します。

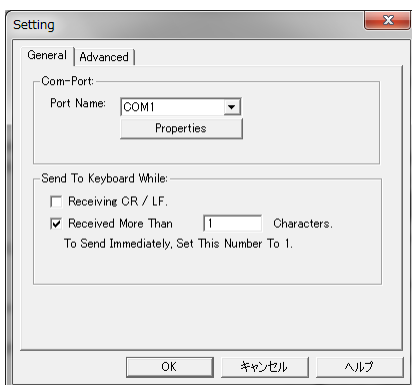


以下の様なメッセージが表示された場合は、OK をクリックしてメッセージを閉じてください。

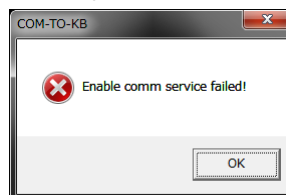


3. タスクトレイのアイコンを右クリックし、Setting をクリックします。Setting がクリックできない場合は、最上部の Disable Com Port をクリックし、アイコンが  の状態になってから選択してください。


4. Setting 画面の Port Name に MS250 が接続されている COM 番号を選択し、OK をクリックします。



※ 選択した COM 番号が使用できない場合は、以下の様なメッセージが表示されます。



COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

5. もう一度タスクトレイのアイコンを右クリックして **Enable Com Port** をクリックします。アイコンが  のように表示されれば、接続が成功しています。

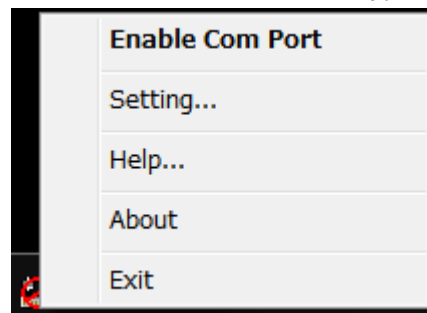
6. メモ帳などに読み取ったバーコードが表示されるかご確認ください。

※ データが表示されない場合は、「COMポートの選択が正しいかどうか」ご確認ください。

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

COM2KEYの画面項目

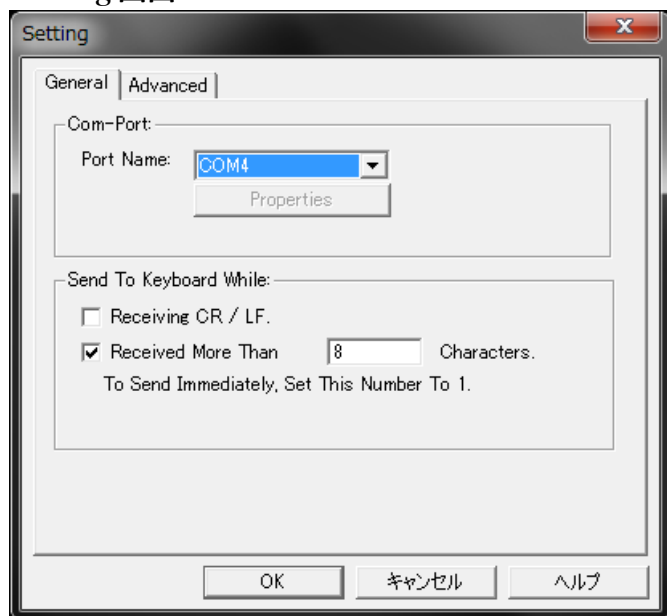
タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるポップアップメニュー：



項目	説明
Enable Com Port	設定中の COM ポートに接続します。この項目は COM ポートに未接続の場合のみ表示されます。
Disable Com Port	接続中の COM ポートから切断します。この項目は COM ポートに接続中の場合のみ表示されます。
Setting	COM2KEY の設定を行ないます。この項目は COM ポートに未接続の場合のみ表示されます。
Help	ヘルプファイル（英語）を表示します。
About	このプログラムについて表示します。
Exit	このプログラムを終了します。

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

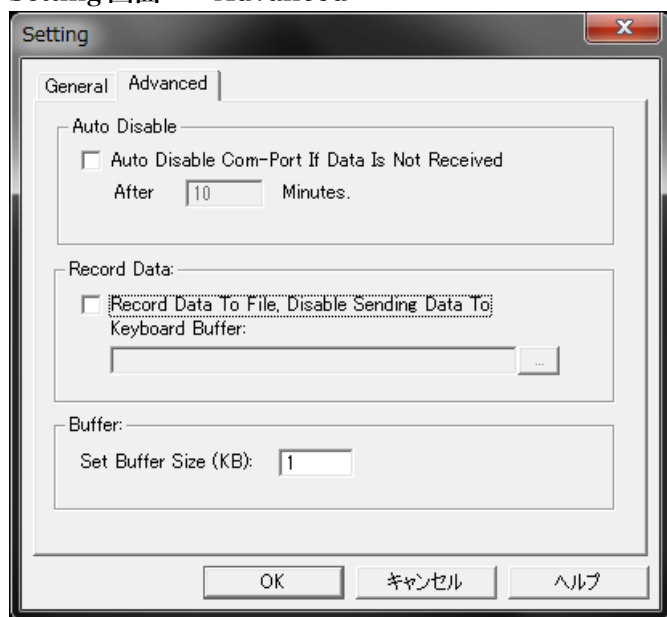
Setting 画面 — General:



項目	説明
Port Name	COM2KEY が接続する COM ポートを選択します。
Properties	COM ポートの設定を行いません。通常は変更する必要はありません。この項目は、Port Name の選択 COM ポートが正常に動作している場合に表示されます。
<p>COM ポートから受信したデータは、キーボードバッファに送信される前に COM2KEY の内部バッファに格納されます。標準では、COM2KEY のバッファに格納されたデータは、キーボードバッファへ毎秒送信されます。COM2KEY は、データを自動的にキーボードバッファへ送るため、2つの条件を設定することができます。</p>	
Receiving CR / LF	「CR」、「LF」または「CR+LF」を受信したらキーボードバッファへ送信します。
Received More Than XX Characters	<p>COM2KEY の内蔵バッファが設定された文字数を受信するとキーボードバッファへ送信します。この機能は、受信データに「CR」「LF」が存在しない場合に便利です。</p> <p>もしも、受信後即座にキーボードバッファへ送信したい場合は、「1」を設定してください。</p>

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

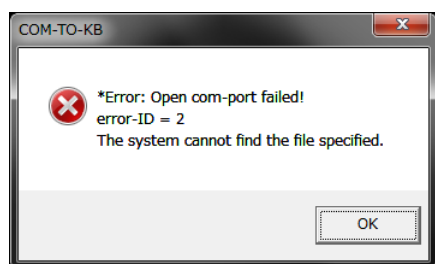
Setting 画面 — Advanced :



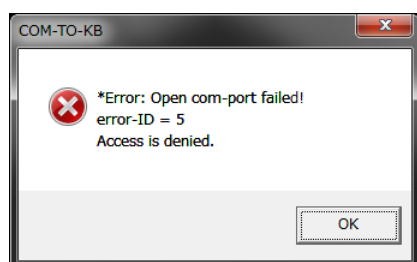
項目	説明
Auto Disable	設定された時間内に COM ポートからデータを受信しなかった場合、COM2KEY は自動的に COM ポートから切断します。単位は分です。
Record Data	COM ポートからのデータを、事前に定義された記録ファイル (dat、txt、log) へ書込みます。この項目を使用した場合、キーボードバッファへの送信は無効化されます。
Buffer	COM2KEY のバッファサイズを設定します。単位はキロバイトです。 <u>COM ポートに、高い通信速度 (ボーレート) を設定した場合、キーボードバッファへのデータ送信渋滞が発生し負荷がかかります。これを防ぐために、より多くのデータを COM2KEY のバッファへ一時的に格納できるようにバッファサイズを大きくしておく必要があります。</u>

COM2KB (COM2KEY) の設定/操作

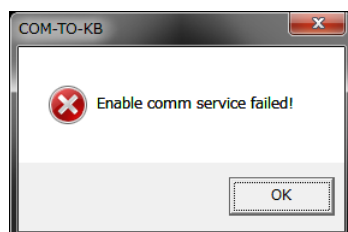
COM2KEYのエラーダイアログ



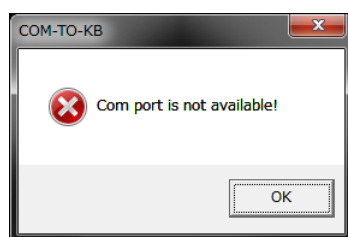
- 設定されている COM ポートが存在しません。



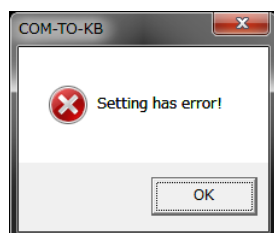
- 設定されている COM ポートへ接続しましたが拒否されました。COM ポートがすでに使用されていないか確認してください。



- COM ポートへの接続に失敗しました。



- 使用できない COM ポートを選択しています。



- 設定エラーです。